

## 令和7年(2025年)

# 12

---

## No.830

# The Religion News

# 宗教新聞

<https://www.religion-news.net>

発行所 宗教新聞社

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-13-2  
電話 03-3353-2940(代)  
FAX 03-5363-5182  
郵便振替口座 00130-9-22704  
©宗教新聞社 2025

購読料 1部 500円  
 (税込) 半年 3,000円 (元共)  
 年間 6,000円 (元共)

## 第44回世界連邦平和促進全宗教者・信仰者念法眞教大会

# 「若い世代に託すこと」テーマに



世界平和の祈りを捧げる導師（桶屋良祐・念法眞教燈主）、式衆＝11月26日、大阪府大阪市の念法眞教  
繪本山小倉山金剛寺

設立された超宗派の宗教協議体である。神道、仏教、キリスト教、イスラーム、教派神道、新宗教など多様な宗教団体が参加し、毎年全国大会を主催するとともに、海外との交流も積極的に進めている。

午前10時30分からは大会に先立ち、金剛寺挾殿礼拝堂で世界平和の祈りが仏教式で執り行われた。導師（桶屋良祐・念佛真教燈主）の主導のもと、式衆、参列者が念佛真言を唱え、世界平和のために真摯な祈りを捧げた。

午後0時20分からの開会式では、導師・坂田安弘神道禊教教主管長の主導により、全員で「祈りの言葉」を唱和し、黙祷を捧げた。宍野史生副審行委員長（扶桑教管長）が開会の挨拶を述べた後、名誉大会長の桶屋良祐・念佛真教燈主が、「こ

剛寺で第44回大会を開催できたのも、ご神縁、ご仮縁のおかげだと思う。私たちは先人が残してくれたさまざまな智慧を自らのものとして、これからもしっかりと歩みを進めたい」と語った。

その後、日谷照應・日本宗教連盟理事長が挨拶を述べ、大橋光夫・世界運動協会事務総長の木戸寛孝氏が代読、「若者をはじめ、周囲の一人ひとりを説得し、世界連邦を実現して世界の人々が手を携えることができるとう努力を積み重ねよう」と述べた。

次いで、麗澤大学特任教授の江崎道朗氏が「皇室と終戦八十年」と題して講演した。

江崎氏は、敗戦後まもなく昭和天皇がマッカー

そして今上陛下へと受け継がれていると述べ、皇室が歩まれてきた道の尊さを語った。

また、終戦50年の1995年に上皇陛下が広島長崎、沖縄、東京を訪問し、戦禍に苦しんだ人々と戦没者の慰靈に心を寄せられたことにも言及。今年、天皇皇后両陛下が硫黄島、沖縄、広島、モンゴル、長崎、東京を訪問され、戦没者と遺族の苦労に思いを寄せ平和を祈られたことを紹介した。江崎氏は、皇室は常に国民と共にあり、その有り難さに私たちが気付くことが大切だと締めくくった。

その後、横山照泰大会宣言起草委員が大会宣言を発表し、満場一致で採択された。最後に丸山徳副大會長が閉会の辞を述べ、大会は盛会裡に終了した。

の異なるトレイルコースがいくつもあり、登山経験がなくても1、2時間で大絶景を満喫できる。だれでも自然を安全に楽しめるよう工夫されているところに感心した▼ところが11月25日、米国務省は国立公園の入場料と年間パスを2026年から大幅値上げすることを発表した。非居住者年間パスは約3倍の250ドル。入場料も11の国立公園で外国人観光客は100ドル上乗せとなる。アメリカ人フアーストに基づく措置とされ、他国にも値上げの動きがある▼世界が自国フアーストに向かうなか、観光立国を掲げる日本はどう対処するか。人間と自然、国民と外国人、共生のバランスはなかなか難しい。

11月20日 大阪府大阪市の念法眞教總本山小倉山金剛寺で「第4回世界連邦平和促進全国宗教者・信仰者念法眞教大会」（主催＝世界連邦日本宗教委員会）が開催された。「将来への希望—若い世代に託せる」ととは」をテーマに、約500名の宗教者・信仰者が集つた。

念法眞教にとつて今年 は立教100年の節目に 当たり、参列者は式典の 合間に、歴代燈主の偉業 をたたえ、その歩みを伝え る「100年ともしび」 会は、1947年にスイ

ユージアム」を見学した。

世界連邦日本宗教委員会

の世に大調和の世界を築かなければならぬ。それは慈愛に満ちた、愛一筋の世界である。民族や国境を越え、世界に極楽をつくるというのが世界思想だ」と述べた。

いう詩を書かれた事實を紹介した。さらに江崎氏は、戦後も皇室が「国安かれ、民安かれ」と祈るために祭祀を続けてきたことを強調したうえで、皇室は国民のため、世界た。ここは全米随一の紅葉の景勝地。マウンテンデザート島のキヤダック山は紅葉渋滞にいたが、事前予約制を取り

# 「国境越え、大調和の世界を」

サ一元帥と会見し、飢えに苦しむ国民のために皇室の財産を提供する意向を示したことにつれた。また、当時11歳だった上皇陛下が日本の将来を用い、「新日本の建設」という詩を書かれた事実を紹介した。さらに江崎氏は、戦後も皇室が「国安かれ、民安かれ」と祈るために祭祀を続けてきたことを強調したうえで、皇室は国民のため、世界平和のための祈りを決して絶やさず、その伝統は昭和天皇から上皇陛下、そして今上陛下へと受け継がれていると述べ、皇室が歩まれてきた道の尊さを語った。

の最中、東海岸の北端にあるメイン州アーカディア国立公園を訪ねた。ここは全米随一の紅葉の景勝地。マウンテンデザート島のキヤデラック山は紅葉渋滞になるだろうと覚悟していたが、事前予約制を取つて、日光や箱根のような渋滞は皆無だつた▼公園内には難易度の異なるトレールコースがいくつもあり、登山経験がなくても1、2時間で大絶景を満喫できる。だれでも自然を安全に楽しめるよう工夫されているところに感心した▼ところが11月25日、米国務省は国立公園の入場料と年間パスを2026年から大幅値上げすることを発表した。非居住者年間パスは約3倍の250ドル。入場料も11の国立公園で外国人観光客は100ドル上乗せとなる。アメリカ人アーチストに基づく措置とされ、他国にも値上げの動きがある▼世界が自国ファーストに向かうなか、観光立国を掲げる日本はどう対処するか。人間と自然、自国民と外国人、共生のバランスはなかなか難しい。